

授業科目 国際看護論

【担当教員名】 長谷川 智子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 国際看護の現状や動向を学び、地球的な規模の健康問題に対処するための看護活動を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 国際看護の基本的概念と枠組みについて理解する。 2. 被支援国における看護分野の開発支援について理解する。 3. 災害発生時の国際看護のあり方について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1～2 3-8 8	国際看護を展開する際に重要となる概念および看護の枠組みを学ぶ。 国際看護の定義、異文化看護の定義、異文化アセスメント、 (看護分野の国際交流、国際看護活動の基礎知識) 事例を通して、看護分野の開発支援のあり方を学ぶ。 (国際開発協力論、国際開発協力機関、国際看護活動の方法) 事例を通して、災害急性期の国際救援活動における看護の役割について学ぶ。 (近年の災害発生状況と国際救援活動の特徴、日本国際緊急支援隊などの活動、事例による国際活動のあり方) 災害復興期における国際支援活動の実際について学ぶ。 まとめ	1 1、2 2 3 3	講義、担当：長谷川 智子 グループワーク、担当：長谷川 智子 グループで事例検討 (日本における国際保健医療協力の必要性、経緯、今日的課題について) グループで事例検討 (災害急性期における国際救援活動の事例) グループで事例検討、担当：長谷川 智子 復興支援活動の事例を用いて、そのあり方について、グループで検討する。		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料	授業毎の配布資料				
【評価方法】 筆記試験		【履修上の留意点】 グループワークが主となるので、参加度を良くする訓練を行っておく。			